

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 一、スポーツに親しみ、健康で明るい暮らしを築きます。
- 一、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 一、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 一、伝統と自然を大切に、住みよいまちをつくります。

平成4年

№481

1 / 1

山口県吉敷郡阿知須町  
発行 阿知須町役場  
電話 65-4111(代) 754-12

広報あじす 毎月5日 発行  
お知らせ版 毎月20日 発行



▲中本さん(左)制作の「飛翔」(中)と「マグマ」(右)

# 「飛翔」役場前で存在感

## 岩前出身中本成紀さんから寄贈

足を横に延ばし、腕を横に張るポーズ。肉体的な美を誇るように、そして思索するような顔。役場前に据えられた男性の裸像が目を惹く。ここに存在感を増しています。題して「飛翔」ひしょう。

制作者は町内岩倉前出身で、岩手県盛岡市在住の彫刻家、中本成紀さん(四〇)。

材質は黒御影石。高さ一メートル二・一メートル。ほぼ等身大で、国画会の展覧会で前田賞を受賞し、この作品が認められて国画会の会友に推挙された記念の作品です。

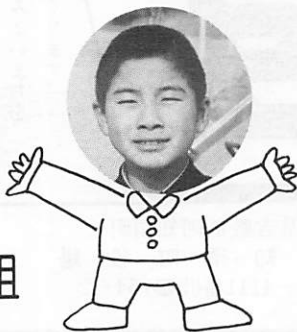
中本さんは阿知須小学校、阿知須中学校、山口高校を経て東京造形大学を昭和五十年に卒業、翌年十月から五年半イタリヤ・カルララ市のアカデミー・ベル・アルティに留学し石の彫刻を勉強。帰国してから母校の造形大学の研究室でさらに学び、現在、岩手大学教育学部の特設美術講座の非常勤講師。国画会の会員でもあります。

この裸像のほかに約一立方メートルの大理石を刻んだ抽象彫刻「マグマ」が町公民館玄関に据えられていますが、これはイタリヤで制作、カルララ市の彫刻展に出品し、入賞した作品。

半年前に中本さんから町に寄贈を受けました。中本さんが帰郷され、正式に据え付けて公表する予定でしたが、多忙のため帰郷の見通しがたらず、今回、ご披露させていただきます。

# どっちが好き

で放送…阿知須小6年1組



1組のみなさん

## 阿知須が好き

「阿知須は海や山などの自然がたくさんあり、田や畑など見るととても心地よい気がします。都会は、とってもに

ぎやかで、買い物なんかすぐできるけど、自然の草花や野鳥なんかはみつからないし、車がたくさん行き来するのでうるさい。はい、阿知須がよい」

「私は小さいころ大阪に住

「あなたは都会と阿知須と比べてどっちが好きですか」……過日、KRY山口放送が阿知須小学校の六年生に聞きそれをラジオで放送しました。インタビュアーを受けた六年一組は三十一人のうち「都会もよい」と答えたのが僅か一人。あとは「阿知須がよい」と答え、アナウンサーも「阿知須に住みたい」と感想をもらしたほどです。そこで、阿知須小学校の六年生に改めて「都会」「阿知須」の感想を書いてもらいました。その主な意見をみますと、結果は六十五人のうち都会派五人、阿知須派六十人に分れました。

「空気が都会よりよい。それに阿知須の人はみんなあつたかいから好きです。私が転校してきたときまわりの人たちが声をかけたり、いろいろおしえてくれたりしました。そんな人々がいる阿知須が好きです」――砂村尚代

謹んで新年のおよろこびを申し上げます。例年になく暖かい師走を経ての迎春ですが、旧年は異常な台風災害やバブル経済など異常な現象を体験した年でありました。しかし、町政においては「第二次阿知須町基本構想」のスタートの年であり、心よりこびを醸す生涯学習審議会が発足して、新しい一歩を踏み出した年でもありました。その基本構想は「ゆとりの

中で活力と創造性を育む交流のまち阿知須」を将来像とし、それを実現するために▽自然と人間の調和する「田園都市」▽生きがいのひろがる「生涯学習都市」▽活力のあふれる「交流都市」▽居住文化を創造する「住宅都市」の四つを基本目標として、諸施策を進めているところです。

特に生涯学習は個人の持つ能力が十分に発揮できるよう、また、他人がその人を認めるような場を町で提供したいと考えています。そのため

でふくらませていくことが大事だと思っています。ことしは、干拓地の土地利用計画もまとまります。環境調和型とスポーツ・レクリエーション型を中心に、地球にやさしいまちづくりをめざします。そして、今後さらに、相携えて、平和と活力のあるまちの建設に邁進しようではありませんか。町の発展、皆様のご健勝を祈念しつつ、まずは新年のごあいさつとします。

## よろこびをふくらます生涯学習推進

町長 飯田 宏 史

# 迎春

阿知須町役場

阿知須町教育委員会

阿知須町議会

議長 中村 徳男  
副議長 大下 義明

総務委員長 松本 隆夫  
副委員長 砂村 猛夫  
委員 長久 清忠  
委員 上野 一成  
委員 吉岡 隆雄  
産業委員長 岡藤 豊  
副委員長 武永 輝男  
委員 正司 重徳  
委員 上野 政藤  
委員 古田 博亮  
委員 藤重 義春  
社会委員長 村田ツエ子  
副委員長 大田源太郎  
委員 石川 二郎  
委員 新田 悦三  
委員 徳永 孝一

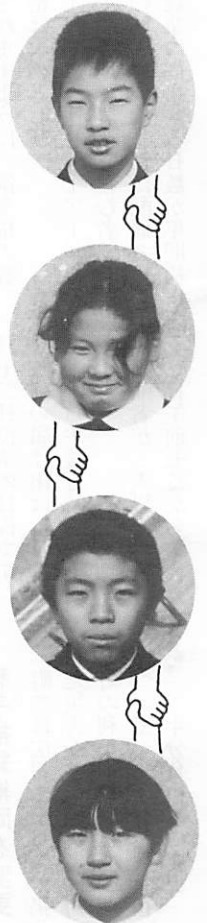
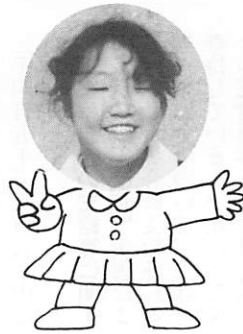
阿知須町監査委員 委員 小林 武男  
阿知須町農業委員会 (議会選出) 議長 長久 清忠  
会長職務代理 藤重 義春  
委員 上田 太一  
委員 酒井 好孝  
委員 脊戸山知秀  
委員 中戸 秋吉  
委員 西山 泰  
委員 福永 陽吉  
委員 前野千代治  
委員 松崎 正月  
委員 正司 重徳  
委員 山本 輝義

〃 (議会推薦)  
〃 (農協推薦)

町長 飯田 宏史  
助役 山田 満雄  
教育長 兼 委員 芳野 敬信  
委員 眞重 章  
委員 井本 操  
委員 高重 等

# 阿知須・都会

K R Yラジオ「ちびっこ万歳」



(写真は阿知須小6年)

## 都会が好き

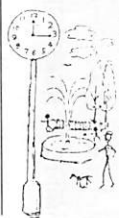
「都会はいろいろなものがあり、べんり。遊園地・動物園など楽しく遊べるところがたくさんある」――杉山美和というようにおもしろいところ、大きい建物などがあるこ

とをあげています。六年生の殆んどが阿知須がよいといっています。に伸ばすにはどうしたらよいのか。「自分は将来どのような町にしたい」という意見を六年二組の生徒三十三人に書いてもらいました。

その結果は、緑を大切にしたい。自然の豊かな町というように自然の豊かさを守ってきたい」というのが殆んど。その中で、少数意見は「みんなが安心して暮らすように。仲のよい町にしたい」――末永修

「あきかんや、紙くすなどたくさん落ちています。私はごみの少ない町にしたい」――田中章子、森重寛子、平田絵美「静かで歴史のある町。伝統行事がたくさんある町に」――吉野明子

「公園に行っても時計がないので時間がわからない。時計の多いまちにしたい」――村田恭子「仕事をすることが多いまちに」――高野幹生など目立ちました。



## 丸塚山に展望台 干拓地、周防大橋も一望

丸塚山（標高五四・三メートル）の山頂に町内が一望できるグラ型式の展望台が完成しました。阿知須干拓地の地主でもある県土地開発公社が約七百万円で建設したもので、高さ三メートルのところに九平方メートルの広場があります。材料はプラスチックでできた丸太のようなもの。

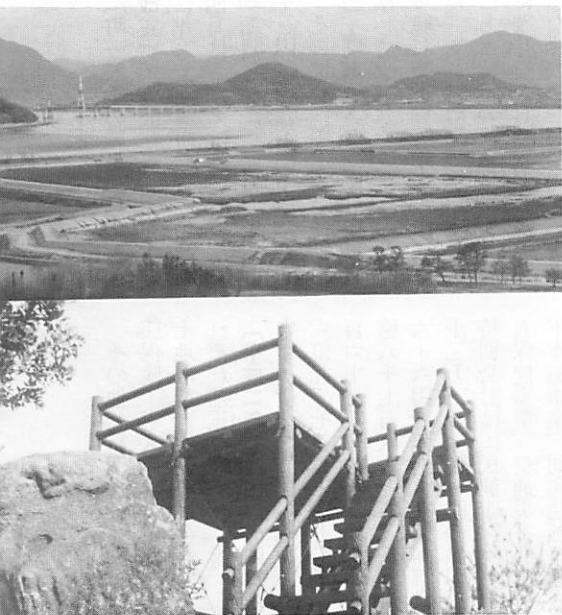
ここ上がると埋め立て工事が進む干拓地や完成近い周

防大橋など一眺でき、晴れた日には九州も望むことができます。丸塚山配水塔のそばには駐車場（四台程度）も整備され、百十七メートルにわたる幅二メートルの歩道は舗装済みです。

干拓地の視察者説明を目的とした施設で、便所など付帯施設はありませんが、一般の人にも利用できます。家族連れ

のハイキングなどご利用ください。

完成した展望台



（農業共済推薦）  
阿知須町選挙管理委員会  
委員長 鈴木 明  
委員 松本 俊  
白井 昭祐  
濱重 昌明  
藤本 豊式

阿知須町明るい選挙推進協議会  
会長 中野 真也

阿知須町固定資産評価審査委員会  
会長 松本 俊  
委員 林 昇  
白井 昭祐  
潮崎 一雄  
佐藤 昭典  
山田 育子

阿知須町広報委員会  
委員長 山田 育子

阿知須町民生児童委員協議会  
総務 縄中 勝人  
副総務 岡田 歳一  
委員 須上 義治  
松原 弘明  
伊藤 清  
中繁 博  
工藤アツ子  
磯金 明二  
上村 定雄  
安村 重男  
田邊 忠志  
藤井あい子  
古谷 一成  
松本 武  
西山 和代  
大田 徳久  
大澤 義雄

阿知須町社会教育委員会議長  
阿知須町公民館運営審議会  
会長 藤田 治  
委員 田中 和子  
藤田 治  
福重 常代  
秋本 純男  
吉岡 隆雄

行政相談員  
人権擁護委員  
阿知須中学校  
育友会  
校長 吉岡 隆雄

# 町教育委員の選任 など20件を可決

## 第4回町議会定例会

平成三年第四回町議会定例会は十二月九日から二十一日まで開会、町長提出議案二十件をすべて可決しました。主なものは次のとおり。

〔工事請負変更契約の締結について〕①阿知須漁港海岸保全施設整備工事で七十一万四千八百二十円を追加し、八千四百四十四万四千八百二十円に。

②西岐波野口線道路改良工事で五十一万八千八百八十円追加、三千四百五十万八千八百八十円に変更。

〔災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正〕災害により死亡した場合に支給される災害弔慰金について、生計を維持している人が死亡した場合の支給額「三百万円」が「五百万円」に、その他の場合「百

### 申請書の提出は

1月10日まで

### 農業委選挙人名簿

町農業委員会は毎年一月一日現在で農業委員会選挙人名簿へ有権者を登録します。

この確認のために該当者にはすでに区長を通じて名簿登録申請書を配布しています。登録を希望される人は一月十日までに申請書を区長に提出してください。

〔町一般職の職員給与の一部改正〕国家公務員の給与改定に準じて、本町職員の給与を四月にさかのぼって改正。平均給料月額二十九万六千九百十三円(平均年齢四十一歳)に。その他、扶養手当、通勤手当、期末手当も国家公務員に準じて改正。また、新たに「管理職員特別勤務手当」を設けた。これは町長の指定する職にある特定の管理職員に勤務に要しない日や祝祭日に勤務した場合、一回につき一万二千円を超えない範囲で手当を支給する制度。

〔補正予算関係〕一般会計は二億六千五百二十五万三千円を追加して歳入歳出とも総額二十九億七千七百八十四万四千円に。歳出の主なものには給与改定によるものや議事堂の改修工事、町づくり人づくり基金への積立金、阿知須中学校管理棟新築など。

六十日以上以上の者。

②昭和四十七年四月一日以前に生まれた者。

### 立候補届け出

1月7日限り

町長選

選挙人名簿に名前が載っていないと投票やリコールの請求ができませんので必ず申請されますように。選挙権の資格は次のとおり。

①町内に在住し、十アール以上の農地で農業を営む者とその同居の親族または配偶者で農業に従事する日数が年間約

は十二日前七時から午後六

その他、特別会計(国民健康保険・老人保健・下水道・土地取得)水道事業会計もそれぞれ補正。

〔平成二年度各会計の決算認定〕一般会計は歳入総額二十六億九千七百五十一万二千二百六十七円、歳出総額二十五億八千七百八十七万三千五百六十六円で差引き一億九百六十三万八千七百一円の黒字。特別会計は国民健康保険、老人保健事業、交通災害共済、下水道事業、同和福祉援助資金、同和地区住宅資金貸付事業など各事業がそれぞれ黒字。

たこ上げは電線のない広場でたこ上げの季節がやってきました。

もし、たこが電線にかかったときは自分で取らずに、中国電力宇部営業所(☎0115)へ連絡しましょう。取り除いてもらえます。

時まで町内四会場で投票を行うこととなります。

投票に關して一般有権者に必要な文書などは立候補締め切り後、町選挙管理委員会から配布される予定です。

### 被災者の借り入れで

### 利子補給期間を変更

町では広報十二月号で掲載した災害などの被災者に対する町の利子補給(二割)期間について、「一分分だけ負担」を「二分分負担」に変更。



|               |           |
|---------------|-----------|
| 阿知須小学校        | 校長 工藤 敦   |
| 阿知須小学校 PTA    | 会長 秋本 英美  |
| 井関小学校         | 校長 宮内 英典  |
| 井関小学校 PTA     | 会長 藤田 晃三  |
| 小郡警察署阿知須派出所   | 所長 田中 秀穂  |
| 阿知須町消防団       | 団長 中村 昭三  |
| 阿知須町社会福祉協議会   | 会長 福永清二郎  |
| 小郡交通安全協会阿知須支部 | 支部長 平海 武二 |
| 防犯連絡所指導員会     | 会長 酒井 好孝  |
| 阿知須町体育協会      | 会長 飯田 宏史  |
| 阿知須の文化を高める会   | 会長 兼定 彰   |
| 阿知須婦人会        | 会長 上野タケ子  |
| 井関婦人会         | 会長 江本紀代子  |
| 老人クラブ連合会      | 会長 岡村 牧恵  |
| 子ども会育成連絡協議会   | 会長 大澤 義雄  |
| 遺族会           | 会長 縄中 勝人  |
| 母子寡婦福祉会       | 会長 井上ミサホ  |
| 更生保護婦人会       | 会長 尾上 孝子  |
| 身体障害福祉更生会     | 会長 児玉 三男  |
| 環境衛生組合連合会     | 会長 徳永 孝一  |
| 手をつなぐ親の会      | 会長 青木 潔   |
| 阿知須町農業協同組合    | 組合長 山本 輝義 |
| 阿知須漁業協同組合     | 組合長 長久 清忠 |
| 阿知須町商工会       | 会長 野村 大象  |
| 吉南信用金庫阿知須支店   | 支店長 小川 康治 |
| 山口銀行阿知須支店     | 支店長 手嶋 哲雄 |
| 阿知須郵便局        | 局長 伊藤 俊彦  |
| 同仁病院          | 院長 西田 健一  |
| 共立病院          | 院長 三好 正規  |
| 白松苑           | 院長 伊藤 郁子  |
| 清光園           | 園長 伊藤 郁子  |
| (区長 納税組合長)    |           |
| 小古郷東          | 三輪 力      |
| 小古郷西          | 岡崎 裕造     |
| 小古郷南          | 三隅 恒夫     |
| 前山            | 田中 正人     |
| 小山            | 山信 律      |
| 北祝            | 片山 辰二     |
| 井上 泰          |           |

## 山口県ふるさとづくり



ある時、城のお殿さまからお姫さまが、隣のお国にお嫁いりなさるので、村中で一番おいしいまんじゅうを差し出すようにとお使いが来しました。さて、村の者達は困りました。紅いまんじゅうにしゅうか、白いまんじゅうにしゅうか。実はこの二軒のまんじゅう屋は年中、うちの紅まんじゅうの方がおいしい、いやうちのお白まんじゅうの方がうまいんだとけんかばかりしていたからです。そこへお城からこのお使いが来たからもう大変です。村中で一番は紅まん

ずいぞ。よし、うちのまんじ  
ゆうを食べてやろう。

紅まんだ、白まんだと村中が  
けんかばかりしているから、

りました。お地藏さまを結婚式に連れてゆくと末長く幸せ



|    |    |    |    |    |    |    |       |       |    |    |    |       |      |      |    |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |       |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |
|----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|----|----|----|-------|------|------|----|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 燒  | 青  | 仙  | 引  | 向  | 源  | 河  | 杖     | 野     | 井  | 赤  | 浜  | 岡     | 旦    | 旦    | 旦  | 岩    | 岩    | 岩    | 岩    | 沖     | 飛    | 砂    | 砂    | 二    | 浜    | 寺     | 西    | 中    | 繩   | 繩    | 東    | 築    | 恵    | 西    | 南    |      |      |
| 野  | 畑  | 在  | 野  | 関  | 河  | 内  | 川     | 口     | 関  | 迫  | 表  |       | 松    | 北    | 西  | 東    | 倉上   | 倉辻   | 倉前   | 倉西    | の原   | 石    | 郷三   | 郷二   | 郷一   | 宮     | 河内   | 条村   | 田北  | 田南   |      | 地    | 比須   | 祝    | 祝    |      |      |
| 吉本 | 小林 | 有富 | 釈野 | 水野 | 國重 | 片山 | 田井中   | 坂田    | 水本 | 古谷 | 福岡 | 藤井    | 藤井   | 上野   | 國平 | 堤健次郎 | 原田正二 | 福島   | 中本康夫 | 田邊竹千代 | 森成寿  | 吉村勇  | 松浦敏男 | 松村政彦 | 松浦正勝 | 山下憲太郎 | 重永義一 | 長久忠夫 | 磯中宏 | 村田浩三 | 藤本哲雄 | 西村豊  | 門出正義 | 中原正義 | 三浦克巳 | 坂岡經康 | 林    |
| 同  | 同  | 儀部 | 藤田 | 大田 | 國重 | 片山 | 兼重サヨ子 | 岡野フジエ | 西林 | 大林 | 上野 | 藤本ノシコ | 木原尚子 | 山野澄子 | 同上 | 森崎保  | 田邊勝  | 辻田洋子 | 田邊義弘 | 中野作雄  | 田邊淑子 | 原口永治 | 小川幸男 | 西村誠一 | 金本剛司 | 久保田光昭 | 福永陽吉 | 工藤敦  | 大濱勇 | 竹本昭  | 岩崎清  | 中野眞也 | 縄田一義 | 吉武正夫 | 河村豊  | 渡邊清志 | 山本謙助 |

(十二月二十七日現在)

# 公民館だより



◀ 駅伝大会トップでゴール  
岩辻 山村 昌平さん

## 公民館をよく利用される 申年生まれのみなさん

今年は申年。12年に1度めぐってくる当り年を迎えられた申年生まれのみなさん、今年も良い年でありますように。

昭和7年▶

縄中トキコ(小西)  
家族の健康と人との  
出会いを大切にしたい。



◀ 昭和19年

山本 哲也(井関)  
健康で新たな経験  
にチャレンジしたい。



昭和31年▶

肥後 洋子(小山)  
家族のふれあいを  
大切に自分らしい生  
き方を見つけない。



◀ 昭和43年

吉村 美香(砂三)  
祈願幸運去る(申)  
なんて事になりませ  
んように。



昭和55年▶

藤井 寛朗(旦西)  
今年も事故なく健  
康に過していききたい。



## 町内駅伝の成績

連絡協議会事務局(町公民館内)  
☎(02)211-2111へ。

▼町内駅伝大会

(12/8、町体育協会主催)

(総合順位)

- ①岩倉(52分20秒) ②小古郷(54分27秒) ③赤浜(56分27秒)
- ④東条⑤引野⑥旦岡⑦砂郷⑧河内・源河⑨寺浜・二の宮⑩飛沖⑪縄田

(区間賞)

- ▽一区小学生 渡辺裕仁(岩倉)▽二区青年 大林英二(東条)▽三区中学生 伊名田康夫(赤浜)▽四区40歳以上 藤田晃三(引野)石丸英雄(岩倉)▽五区高校生 金本高志(岩倉)▽六区30歳以上 坂井達穂(旦岡)▽七区青年 岡村久保(東条)



▲優勝の岩倉チーム

たくましい阿知須の子を育てる町民の広場  
とき 1月19日(日) 午前9時受け付け  
ところ 阿知須町公民館大講堂

「学校週5日制と  
家庭教育のあり方」

町教育委員会、たくましい阿知須の子育成協議会共催の平成三年度「たくましい阿知須の子を育てる町民の広場」を一月十九日(日)午前九時二十分から町公民館三階大講堂で開きます。

当日は、教員・PTA・スポーツ少年団の代表による「たくましい阿知須の子を求めて」の意見発表や全体協議、来年度から実施される予定の学校週5日制に対する家庭教育のあり方について、文部省調査研究協力校山口市立二島中学校の今井清隆校長の講演があります。

小学校PTA・中学校育友会・

スキー教室参加者募集

1月18日まで

町教育委員会では、冬季野外スポーツ教室「スキー教室」の参加者を募集しています。

▽日時 二月九日(日)

▽集合 町公民館前、午前五時

▽場所 集合

▽参加費 一人 七千円(昼食

保険料含む)

七草がゆで厄払い

15日、耐寒ハイキング

町教育委員会では「野山を歩いて、七草がゆを食べよう」という目的で「体力つくり耐寒ハイキング」を次のとおり行います。

▽日時 一月十五日(水・成人の日)

▽集合 町公民館前、午前九時

から受け付け

参加申し込みは一月十日(金)

までに町教育委員会社会体育係

(☎02-211-2111)へ。

春の七草とは、せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけ

「たこくりの教室」

1月26日

町子ども会育成連絡協議会と町教育委員会では「たこくりの教室・たこ上げ大会」を次のとおり開きます。

▽日時 一月二十六日(日)

午前九時集合

▽場所 町公民館二階大会議室

「たこくりの教室」

時間 午前九時から

場所 阿知須町公民館

「たこ上げ大会」

時間 午後一時半から

場所 阿中グラウンド

問い合わせは町子ども会育成

○元旦に集う会

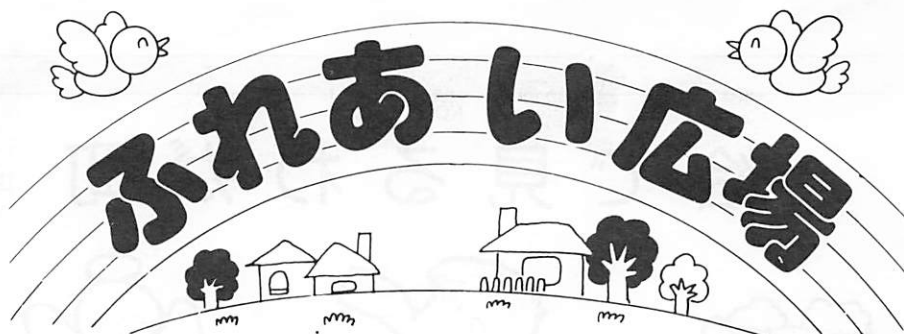
一月一日(木) 午前七時から

岡山合同納骨塔前広場

○親子読書会

一月十二日(日) 午前十時

から町公民館



「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画課（有線二一四四）へお寄せください。



山口県肢体障害者福祉協会

特別功労者表彰受彰

児玉三 男さん(60)

東

十一月に山口市で開かれた県総合社会福祉大会で県肢体障害者福祉協会から特別功労者表彰の栄に。町身障者更生会の活動や運営に尽した功績に対するもの。

現在、町の身障者福祉更生会長ですが、どんな活動をされている団体ですか  
「身体に障害のある者同志の親ばく、障害を乗り越えていこうという励まし合いなどをめざし



中部地区の身障者スポーツ大会にも参加しちやります」  
「会員の状況は？」  
「現在、町内で身障者手帳を受

ています。家に閉じ込めりがちな人には社会参加を促します。年一回はバスで研修旅行、県や

けている者は約二百四十人で、そのうち会員は九十八人です。みんな生き生きとしています。未加入の人は町住民課で手続きをされれば入会できます。手をとって合って頑張りたいと思うっています」  
「趣味をいっぱいお持ちのようですが」  
「そうですね、六年前から詩吟を始め、現在岡山流奥伝。県大会で四回入賞しました。ほかは民謡、カラオケ、ゲートボールをやつちやります。まあ病氣もせんと毎日元気です」  
「これからの希望は」  
「九十、百歳までも長生きしたいです」  
息子二人は別に独立、孫四人。現在は奥さんと二人暮らし、町議会議員を二期務めた。

川正義さん(築地)は妻広子さんの▽藤重隆敏さん(岩上)は母タカさんの  
◇篤志▽旦西匿名さんは快気祝として▽縄北匿名さん

よろこびかなしみ (届出順)



(十二月十九日受付分まで) 出生(おすこやかに)

子名 続柄 親の名 月 日 住所

- 奥田 優作 長男 靖夫 11 17 砂三
- 中島 梓 長女 辰夫 11 22 旦西
- 上野 真弥 長男 勝則 11 25 岩辻
- 渡部 正太郎 長男 良道 12 6 旦北
- 長尾 侑輝 長男 克也 12 9 河内

善意はここに

〈社会福祉協議会へ〉

◇香典返し▽杉田貢さん(野口)は母ヤスコさんの▽福岡昌章さん(浜表)は妻孝子さんの▽石

教育委員に 高重氏選任

町議会は十二月二十一日、高重等氏(左)一浜表・写真の教育委員選任について町長から提案されていた件を同意しました。教育委員五人のうち藤井直澄委員(宮司・河内)の任期満了(二期八年)に伴うもので、新しい任期は十二月二十八日から

役場のまど

▽新年は「申」年。見ざる・聞かざる・言わざる、の三猿でなく、「よく見て」「よく聞いて」そして自分の考えが「はっきり」言える「ように努めたい」ものです。その中から生きることのよろこびが一層ひろがることになりましょう。町がめざす「生涯学習都市」はそうした人たちが多く育つことも願っています。町はことしから生涯学習をさらに進めます。前進する阿知須町民・伸びる阿知須町をめざして、新年がみなさんにとりまして、よい年となりますように。



四年間

東岐波中

学校教諭を

振り出しに

小・中学校

長、県教育

庁同和教育

課課長補佐などを

を経て昭和六十

二年上宇部中学校長を最後に退職。現在、町同和教育推進委員・会長、生涯学習審議会長などの役にあります。

可燃ゴミの収集日

阿小校区(岩倉を除く) 月・水・金

|     |     |     |     |       |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 6日  | 8日  | 10日 | 13日 | (16日) | 17日 | 20日 |
| 22日 | 24日 | 27日 | 29日 | 31日   |     |     |

井小校区(岩倉を含む) 火・土

|     |    |     |     |     |     |     |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4日  | 7日 | 11日 | 14日 | 18日 | 21日 | 25日 |
| 28日 |    |     |     |     |     |     |

( )は変更後の収集日

不燃物ゴミの収集日

(町内全域)

○ビン、ガラス、灰など(第3、5木曜日)

|     |     |
|-----|-----|
| 16日 | 30日 |
| (木) | (木) |

○空缶、鉄類(第2、4、5木曜日)

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 9日  | 23日 | 30日 |
| (木) | (木) | (木) |

ごみの収集時間  
前日午後五時〜当日午前八時  
町指定袋の販売  
町指定のごみ袋は、各地区環境衛生組合長宅と婦人会支部長(一部宅で販売します。清掃センターへ直接持ち込みごみを直接センターへ持ち込むのは(月・土)、午前八時半〜正午、午後一時〜午後二時まで。(祝祭日は出せません)

ごみの収集日

1月

